



東日本大震災で被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

最新マンスリーecoニュース&トピックス

・最近のニュース

平成22年度に発覚した産廃不法投棄量は6.2万トン

2012.01.04/環境省

環境省は、平成23年12月28日、平成22年度の産業廃棄物の不法投棄等の状況について発表した。新たに発覚した産業廃棄物不法投棄件数は216件で前年度の279件に比べて63件の減少、不法投棄量は6.2万トンで前年度の5.7万トンに比べて5.0万トンの増加であった。不法投棄廃棄物の種類としては、投棄件数では建設系廃棄物の157件(がれき類88件、木くず36件、建設混合廃棄物22件等)が最も多く、全体の72.7%を占めている。投棄量で見ると、建設系廃棄物が4.6万トン(がれき類3.7万トン、木くず0.5万トン、廃プラスチック0.2万トン等)と多く、全体の74.8%を占めている。

環境法改正情報

■千葉県「環境影響評価条例」の一部を改正

2011.12.27

「環境影響評価法」の完全施行から10年を迎え、法の施行を通じて浮かび上がった課題や、生物多様性の保全、地球温暖化対策の推進、地方分権の推進、行政手続のオンライン化等の社会情勢の変化に対応するため、法の一部を改正した。環境影響評価方法書の内容を周知させるための説明会の開催及び要約書の作成が義務付けられ、また、方法書、準備書、評価書及びこれらの要約書の公表の手續が改正され、電子縦覧も義務付けられた。

Ecobiz/ecolife エコビズ/エコライフ

いまだ聞けない? 教えて! 「優良性基準適合認定制度」 Series.1

エコ・エイトは収集運搬業・中間処理業・専門性の3分野において、業界トップランナーとして産廃エキスパートに認定されました!

全国初! 第三者評価機関による認定制度がスタート

(財)東京都環境整備公社は、東京都から「第三者評価機関」として指定を受け、産業廃棄物処理業者に対し、「経営的な面での取組」「管理面に関する取組」「廃棄物処理に関する取組」に関する50以上の評価項目により、厳正に評価・認定を行います。

次号より、2回に渡って制度についてご紹介いたします。

産廃エキスパート
(業界のトップランナー的業者)
産廃プロフェッショナル
(業界の中核を担う業者)

信頼性の高い総合評価

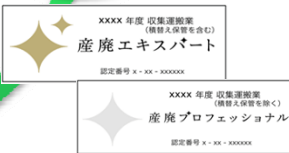
豊富な経験と高い専門知識による書面審査及び現地審査を実施

優良業者に与えられる認定ロゴマーク

優良性基準適合認定制度の特徴

レベルに合わせた2つの認定基準

公正・公平な評価認定



学識経験者や実務経験者などの有識者による評価委員会を設置



Try for tomorrow
「明日の地球の為に、今できること」

お客様のために常にお役に立ちたい...そんな思いを大切にするエイトマンを毎号ご紹介いたします。



■京浜島リサイクルセンター

肥後 俊彦 氏

京浜島リサイクルセンターの肥後です。私の好きな言葉は『挑戦』です。失敗を恐れず積極的に取り組む姿勢を心がけています。仕事通じ、自分自身も成長できるよう努力しております。廃棄物業界のプロとして、細かな作業・迅速な処理をし、今後もお客様のお役に立てるよう頑張ります。

罰則と判例

建材の線量検査殺到...福島、動揺収まらず

2012.01.22/読売新聞

福島県二本松市の新築マンションで放射性物質に汚染されたコンクリートが使われていた問題の影響で、県内の砕石などの建設資材や工業原料を扱う業者から、検査実施機関への放射線量調査の依頼が相次いでいる。福島市にある県の施設「福島技術支援センター」。同施設で企業向けの検査業務を行う財団(東京都)によると、昨年6月から今年1月13日までに砕石の検査依頼を申し込んだのは6業者だけだったが、コンクリートの放射線量が問題になった後は、今月18~20日の3日間だけで7業者が依頼してきた。

営業に役立つ【ステルス環境用語と豆知識マーケティング】

今、話題の「ステルス・マーケティング」(StealthMarketing)とは、英語の「Stealth」(隠れる、こっそりする、隠密)、すなわち自らの正体を隠し、宣伝広告ではないフリをしてこっそりと宣伝広告をすること。用語としては広告広報戦略の一つ、マーケティング用語のひとつ。